

平成14年度 第6回常任委員会 議事録(案)

日時:平成15年3月4日(火)14:00~17:15

場所:土木学会会議室 2F 講堂

出席者:魚本委員長、鮎田、石橋、上田、大津、岡沢、河野、國府、坂井、堺、佐藤、武若、竹田(代理:坂田)、辻、富田、二羽、福手、前川、松岡、宮川、宮本(代理:小林)、山崎(代理:近田)、山本の各委員
睦好幹事長、井上、宇治、大内、島、中村の各幹事

配布資料:

- 6-0 平成14年度 第6回常任委員会 議事次第
- 6-1 平成14年度 第5回常任委員会 議事録(案)
- 6-2 fib 国際会議 CD の費用について
- 6-3 平成14年度コンクリート委員会会計状況(2月28日現在)
- 6-4 荷重連合小委員会の設立のお願い
- 6-5 電気抵抗法によるコンクリート用スラグ再骨材の密度および吸水率試験方法(案)(JSCE-C506-2003)
- 6-6 会長特別委員会からのお願い
- 6-7 調査研究委員会における継続教育への取り組みについて
- 6-8-1 基準関連小委員会委員構成
- 6-8-2 コンクリート教育小委員会委員構成
- 6-8-3 表面保護工法研究小委員会委員構成
- 6-8-4 PC 構造物の現状の問題点とその対策に関する研究小委員会(324委員会)委員構成
- 6-8-5 325委員会委員長交代のお願い
- 6-8-6 コンクリートの表面被覆および表面改質技術研究小委員会(325委員会)委員構成
- 6-8-7 弾性波法の非破壊検査研究小委員会(326委員会)委員構成
- 6-8-8 コンクリート構造物の耐火技術研究小委員会(327委員会)委員構成
- 6-9 超高強度繊維補強コンクリート構造物の設計・施工指針作成小委員会(仮称)
- 6-10 第324委員会の継続願い
- 6-11 3種委員会の新設について「耐震設計研究小委員会」
- 6-12 第58回年次学術講演会研究討論会のテーマ・企画について
- 6-13 国際会議の開催に伴う共同主催願い
- 6-14-1 微量成分溶出に関する調査研究小委員会 ライブラリー原稿意見に対する回答
- 6-14-2 コンクリートからの微量成分溶出に関する現状と課題
- 6-15-1 エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針(改訂案)
- 6-15-2 エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針目次新旧対応表
- 6-15-3 エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針改訂案に対する意見回答書
- 6-16-1 電気泳動によるコンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法(JSCE-G571-2003)
- 6-16-2 浸せきによるコンクリートの塩化物イオン拡散係数試験方法(案)(JSCE-G572-2003)
- 6-16-3 実構造物におけるコンクリート中の塩化物イオン分布の測定方法(案)(JSCE-G573-2003)
- 6-16-4 基準関連小委員会から塩化物イオン拡散係数試験方法検討部会作成原案への意見に対する回答)
- 6-16-5 塩分拡散係数試験方法等(案)に対する意見回答書

- 6-17 「コンクリートの化学的侵食・溶脱」に関するシンポジウムプログラム
- 6-18 「PC 構造物の現状の問題とその対策」に関するシンポジウム開催のご案内と講演論文の募集
- 6-19 第3回コンクリート構造物の補修, 補強, アップグレードシンポジウム
- 6-20 The 3rd Kumamoto International Workshop on Fracture, Acoustic Emission and NDE in Concrete: KIFA-3
- 6-21-1 電気炉酸化スラグ骨材を用いたコンクリートの設計・施工指針(案)
- 6-21-2 EFS コンクリートの耐凍害性 / 配合設計に関する考え方
- 6-22 吹付けコンクリートの設計施工技術に関する指針(案)作成の委託研究願い
- 6-23 セメント販売概況 2002 暦年

議事

1. 前回議事録確認

資料 6-1 の議事録(案)が承認された。

2. 報告事項

(1) fib、CD 経費の予算執行について

睦好幹事長から、資料 6-2 に基づき、fib 国際会議配布 CD 発行に伴い、見積もり等が不十分であったため追加の費用が発生したことが報告された。追加費用に対し、出版事業課と半分ずつ負担することが提案され、了承された。

(2) 予算執行状況

・睦好幹事長から、資料 6-3 に基づき、2月 28 日現在の平成 14 年度会計状況が報告された。残金が生じた場合は例年通り示方書仕掛品で未使用金として返金することが説明された。

・予算執行状況に関連し、英訳小委員会の予算支出の予定と作業状況が上田委員から報告された。示方書の英訳版の出版に関連し、CD-ROM での出版を前提とし出版事業課と打ち合わせる、出版は来年度に行い今年度中に出版企画書を提出することとした。

(3) 荷重連合小委員会設立のお願い

睦好幹事長から、資料 6-4 に基づき、荷重連合小委員会の設立依頼があったことが報告された。協力については、次年度の委員長・幹事団で検討することとした。

(4) 「電気抵抗法によるコンクリート用スラグ細骨材の密度および吸水率試験方法(案)」

宇治幹事から、資料 6-5 に基づき、電気抵抗法によるコンクリート用スラグ再骨材の密度および吸水率試験方法(案)について、基準関連小委員会で検討し案を修正したことが報告された。案に対し意見がある場合は、3月 10 日までに梅原委員長に連絡することとした。

(5) ISO 対応特別委員会より規格・規準類の英訳化等助成

坂井委員から、ISO 対応での英訳化等助成の応募について報告された。土木学会基準類等は英訳したほうがよいとの意見があり、応募する場合は坂井委員に申し出ることとした。

(6) 会長提言特別委員会

睦好幹事長から、資料 6-6 に基づき、会長提言特別委員会から学会ホームページコンテンツ作成のためのアイデア募集の依頼があったことが報告された。依頼に対しては、教育小委員会が対応することとした。

(7) 第 3 回アジア土木技術国際会議での講演発表者の推薦

睦好幹事長から、第 3 回アジア土木技術国際会議での講演発表者の推薦依頼があったことが報告され、

魚本委員長を発表者として推薦することとした。

(8) コンクリート委員会と地震工学委員会の意見交流会

睦好幹事長から、地震工学委員会から耐震性能照査編の内容に対し意見書がコンクリート委員会宛に来ており、その中で意見交流会の申し出があることが報告された。意見交流会については、次期体制で対処することとした。また、意見書については、耐震作業部会のメンバーに送ること、興味のある委員は事務局に申し出ることとした。

(9) 継続教育実施連絡会

大内幹事から、資料 6-7 に基づき、技術推進機構からの継続教育に関する各研究委員会への依頼事項が次回理事会に提案されることが報告された。依頼事項の中で、継続教育申請プログラム認定の申請対象に関してはコンクリート委員会内でルールを決める必要があり、それらの事項に関しては次期幹事団で検討を行うこととした。なお、コンクリート委員会の講習会等は全て CPD 活動に該当するとの意見が出された。

(10) その他

(a) 電気炉酸化スラグ骨材を用いたコンクリートの設計・施工指針(案)

國府委員から、資料 6-21-1, 6-21-2 に基づき、委員からの意見に対しては対応したが報告されるとともに、耐久性に関する考え方の骨子が説明された。

また、内容に関して施工編に間違いがあり、それらを参照しているとの指摘が行われ、以下のように対応することとした。

國府委員から、電気炉酸化スラグ骨材を用いたコンクリートの設計・施工指針(案)については、施工編に疑問がある項目を参照している場合は、既に修正したことが報告された。

これに付随して、2002 版示方書およびその英訳について以下の意見が出された。

・示方書の英訳については、間違っている事項は修正して英訳し、修正箇所を常任委員会に連絡する。また、英訳作業は正誤表の確認を行ってすすめる。

・示方書の間違いに気づいた場合は、示方書を参照する指針等では間違いを修正して記述する。

・示方書の間違いに気づいた場合は、前川委員に連絡する。

3. 審議事項

(1) 各小委員会委員の構成, 交替等

魚本委員長から、資料 6-8-1 ~ 6-8-8 に基づき、各種委員会の委員の交代ならびに委員構成が提案され、了承された。

(2) 小委員会の新設・継続

魚本委員長から、資料 6-9 ~ 6-11, 6-22 に基づき、以下の委員会の新設ならびに継続の提案が行われた。

a) 「超高強度繊維補強コンクリート構造物の設計・施工指針作成小委員会(仮称)」の委員長として二羽委員が指名され、承認された。引き続いて、二羽委員から、委員構成案が提案された。全委員に了承をとっていないため、ここでは暫定的に認め、了承がとれ次第委員会活動を行い、委員構成については来年度の第一回常任委員会で報告することが説明され、了解された。なお委員会名は、「超高強度繊維補強コンクリート構造物研究小委員会」を原案として、検討することになった。

b) 「PC 構造物の現状の問題点とその対策に関する研究小委員会(324 委員会)」(委員長: 睦好幹事長)の継続が承認された。

c) 3種委員会として、「耐震設計研究小委員会」(委員長: 島幹事)の設立が承認された。なお、委員会名が示す対象が広すぎるとの意見が出され、委員会名について意見があれば島委員に連絡することとした。

d) 吹付けコンクリートの設計施工技術に関する指針(案)作成の委託研究に対する委員構成が承認された。

委員会名は「吹付けコンクリート研究小委員会」(委員長:魚本委員長)とした。なお、一部委員の所属先が委託者と同一であるとの指摘が行われたが、あくまでも個人参加と位置づけているとの補足説明が行われた。

(3) 土木学会全国大会研究討論会

福手委員から、資料6-12に基づき、コンクリート教育研究小委員会からの全国大会研究討論会のテーマ・企画が提案され、了承された。企画の詳細については次回以降の委員会で報告することとなった。

(4) 国際会議の開催に伴う共同主催

睦好幹事長から、資料6-13に基づき、「第1回構造ヘルスマニタリング及び知的インフラストラクチャに関する国際会議」の共同主催願いの内容について説明が行われた。コンクリート委員会が、構造工学委員会とともに共同主催となることが了承された。

(5) コンクリートからの微量成分溶出に関する現状と課題

坂井委員から、資料6-14-1に基づき、ライブラリー原稿意見に対する回答の説明が行われた。以下の対応をすることとなった。

- ・6章の溶融スラグの意見に対する記述は、削除することとした。
- ・大きな意見がある場合は、10日までに坂井委員に連絡する。
- ・講習会は、規準編の講習会と同時に行う。

(6) エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリート設計施工指針改訂(案)

武若委員から、資料6-15-1～6-15-3に基づき、エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリート設計施工指針改訂(案)の以下の説明が行われた。3月20日までに土木学会基準も含め意見回答書を送付することとした。

- ・性能照査型の示方書に準じる形で、目次の修正(資料6-15-2)および内容の修正を行った。
- ・現行のエポキシ鉄筋の試験と、既設構造で使われているエポキシ鉄筋の試験を行い、そのデータに基づき修正を行った。
- ・エポキシ鉄筋の定義を新たに行った。
- ・製造に関する項目は資料編としてまとめ、指針では製品として出来上がったものを対象とした。
- ・施工編、構造性能照査編に準じる項目は削除した。
- ・施工編に準じて、耐久性、検査、工事記録の項目を新設した。
- ・構造性能に関する項目を新設した。
- ・塗膜厚、付着強度を変更した。
- ・エポキシ鉄筋に係る土木学会基準の見直しを行う。
- ・4章については、塗膜の影響を換算係数を考慮してコンクリートかぶりに対応させる考え方を提示しており、十分検討してもらいたい。
- ・試験方法は、エポキシ樹脂と限定しない方向で、その他の樹脂にも利用出来る形を考えている。

(7) 塩化物イオン拡散試験方法関連

武若委員から、資料6-16-1～6-16-5に基づき、塩化物イオン拡散関係の試験方法について説明が行われた。6-16-4の基準委員会からの意見を参考にして、3月20日までに意見回答書を送付することとした。

- ・EPMAを用いて塩化物イオンの分布を測定する試験方法(案)を作ることも予定している。
- ・タイトルを、どの拡散係数に対する試験方法か(見かけ、実効)を分かるように修正することとなった。

4. その他

(1) 坂井委員から、資料6-17に基づき「コンクリートの化学的侵食・溶脱」に関するシンポジウムプログラムの案内が行われた。

(2) 睦好幹事長から、資料6-18に基づき「PC 構造物の現状の問題とその対策」に関するシンポジウム開催の

案内が行われた。

(3)宮川委員から、資料 6-19 に基づき第3回コンクリート構造物の補修、補強、アップグレードシンポジウムの案内が行われた。

(4)大津委員から、資料 6-20 に基づき、324 委員会の活動の一環として「The 3rd Kumamoto International Workshop on Fracture, Acoustic Emission and NDE in Concrete: KIFA-3」を行うことが案内された。

(5)山本委員から、資料 6-23 に基づき 2002 年のセメント販売概況ならびに高炉セメントの販売比率が紹介された。

(6)山本委員から、JIS5308 の情報ならびに公示が 12 月になることが紹介された。

5. 委員長、幹事長、幹事挨拶

各幹事、睦好幹事長、魚本委員長から任期終了の挨拶が行われた。

以上